



## 1 穂波東校小中合同研

2月8日（火）、穂波東校の小学部・中学部の全ての先生方が参加して本年度の穂波東校小中合同研のまとめを行いました。

本来であれば、各部会に分かれ、小・中の先生方による意見交流を通してまとめを行うところですが、現在のコロナ感染の状況を踏まえ、個々にまとめを行い、ロイロノートを使って集約する方式に変えました。そして、各先生方から大変貴重なご意見を多数いただくことができました。その一部を紹介いたします。

### 学力向上部会Ⅰ

目標：日々の授業の中で「基礎学力の定着・活用力の育成」を確かなものにするために「穂波東校：授業スタンダード」に基づく教育実践の在り方を究明する。

- 「穂波東校：授業スタンダード」に基づく教育実践を小中間でのもっと交流した方がよい。
- 「リフレクション」の在り方を具体的にするための研究に取り組む必要がある。
- 「穂波東校：授業スタンダード」について、まずは教員側がしっかりと意識しなければならないと思う。

### 学力向上部会Ⅱ

目標：小学部の「学びタイム」「スタディアップ」や中学部の「チャレンジタイム」「再チャレ」を繋ぎ、9年間を通して「基礎学力の定着」が図れるよう交流・検証・改善を行う。

- 小中ともにタブレット端末を活用した取組が進んでいる。
- 問題を次々に解かせるだけでなく、定期的に定着度を分析し、定着度の低い内容については、再度取り組ませる必要がある。
- 「基礎学力の定着」には継続的に反復することが必要である。そこで、子どもたちが飽きずに、意欲的に反復に取り組むために工夫が必要であると感じる。

### 生徒指導部会Ⅰ

目標：「穂波東校：アクション3」に基づく教育実践を通して、不登校の未然防止・解消が図れるよう実証的に取組の検証・改善を行う。

- 「不登校の未然防止・解消」のための「マンツーマン指導」のチーム編成については、現状をしっかりと分析し、より実効性がある編成にする必要がある。
- 学習支援の在り方も視野に入れながら、「穂波東校：アクション3」の更なる改善が必要である。
- 「穂波東校：アクション3」により、どの学年でも共通した組織的な取組を展開することができた。

### 生徒指導部会Ⅱ

目標：「穂波東校：引き継ぎシート」の活用を通して、9年間を通じた連続的な情報共有を組織的に行い、不登校の未然防止・解消を図るとともに、「シート」の改善に取り組む。

- 「穂波東校：引き継ぎシート」を十分に活用できていない実態がある。
- 「穂波東校：引き継ぎシート」の活用の在り方を具体的に示していく必要がある。
- 「穂波東校：引き継ぎシート」の内容を更に改善することが必要である。

今後は、いただいたご意見をもとに、穂波東校小中経営部会が中心となり、「令和4年度 穂波東校：9年間の教育活動プラン」を作成してまいります。

また、集約した先生方のご意見をグループウェアの「お知らせ」に掲示しておりますので、ご参照下さい。